

## 細江カトリック教会だより 4月

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

## 神の民の祭司職

4月に入ると、新年度の始まりとともに聖週間と復活祭を迎えます。主イエスはその死と復活を通してもたらしてくださった新しいのちをお祝いし、希望と勇気をもって新年度を踏み出しましょう。

広島教区では、前田前司教さまが教区創立100周年に向けて、3年ずつに分けて「家庭へのチャレンジ」「教会へのチャレンジ」「社会へのチャレンジ」を呼びかけられました。今年はその二つ目の「教会へのチャレンジ」の始まりです。白浜新司教さまは、これを次のようにサブテーマに分けて取り組んだらどうか、と提案されました。

2017年4月～2018年3月  
「祈る使命」(祭司職・典礼)

2018年4月～2019年3月  
「伝える使命」(預言職・宣教)

2019年4月～2020年3月  
「仕える使命」(王職・司牧)

この3区分は、そもそも父である神によって遣わされたイエス・キリストの使命が、祭司職・預言職・王職の三つに分けられることに基づいています。「祭司職」とは、神と人々との仲介をする役割のことで、イエスは十字架の上でご自分を捧げることを通してこの使命をまっとうされ、復活の後はいつも私たちの中で父に取りなしていただいています。「預言職」とは、神のことに仕える役割のことで、世の人々に神の国の福音を告げ、回心を呼びかける使命です。「王職」とは、「牧職」とも言われ、神の民の世話をする役割の

ことで、とくに苦しんでいる人、困っている人、見捨てられた人を助け、喜びと平和をもたらすために働く使命です。

そして、キリストのからだとしての教会は、このキリストのわざを世の中で行うために、主キリストによって生まれ、創設されました。教会を手足として、主キリストが働き続けます。主キリストは教会をいわば道具として、「祭司職」「預言職」「王職」を行われます。

さて、どのようにしたら私たちの共同体は、今年度の課題である「祭司職」を実行できるのでしょうか。どのように世の人々のために祈り、人々の祈りを神さまのもとに届け、神さまの愛と恵みを人々にもたらすことができるのでしょうか。皆で一緒に考え、アイデアを出し、協力して取り組みましょう。

もちろん、「祈る使命」は「伝える使命」や「仕える使命」と不可分です。すでに宣教司牧評議会を通じて呼びかけられ、それぞれの地区で話しあい、提案された具体的な事柄も、共同体の祈りによって方向づけられ、支えられ、促進されることでしょう。

百瀬 文晃 神父



## 地区だより I

## 私の信仰生活 細江地区 鳥居 紀子

昨年を振り返ってみて、大きな恵みが2つあったように思っています。

まず1番目は、2016年度山口地区の信徒養成として、宇部教会で行われた百瀬神父様による「信徒の神学講座」、計6回の講座を受講しました。その日の講座内容について、出された考察のポイントに対して、まとめてレポート提出することが課題でした。講義の内容を反芻するだけでなく、それに関連する自分自身のこれまでの信仰生活について、思いめぐらしていました。そこから見えてきたことは、このみじめで罪深い、本当に小さな私なのに、神は私が望む前からその道筋を整え、導き、その時に応じて必要な助け手を与え、見守ってくださった。「こんな私なのに、愛してくださっている！！」と確信できたことです。人生の後半期に差し掛かっているこの時に、これまでの自分自身と神の関わりについて振り返り、言語化することができたことは大きな恵みでした。

2番目は、昨年東京へのお出張のおり、イグナチオ教会で立ち寄ったパウロ書院で「沈黙を聴く」(現代の神秘家、モーリス・ズンデルの人と霊性)という本との出会いです。読み進む中で、『神は貧しい』という一言は衝撃的でした。しっかり消化できないけれども新鮮な何かが刺激として飛び込んできました。それからは、モーリス・ズンデルという司祭に興味を湧き、次に上京した折には、「人間を見るもう一つのまなざし」というモーリス・ズンデルの説教集を購入しました。今、一番刺激を受け、いつも手元に置いている本です。

ズンデルは、『主の人性は私たちのうちに現存されることをやめず、主の人性のうちに現存していないのは私たちです。主は現存しておられ、不在なのは私たちです』と言っています。

日々の雑事にどうしても心が奪われてしまい、内在する聖なる主の前に、私自身を不在にしないよう、まずは、感性を豊かに

磨き、日々の生活の中で、野に咲く花々や空の鳥、雲や月、風や陽の光を受けてキラキラと輝く海面のさざ波、人のやさしい言葉やほほ笑みに出会った時など、そのことを、内在する主に語りかけ、分かち合い、主の前に座り、不在になる時間を可能な限り少なくしていきたいと、手始めとして実践し始めたところです。これが今の私の日々の挑戦です。



## 2017年世界祈祷集会 3/3 (金)

彦島カトリック教会で「フィリピンからのメッセージ」のテーマで行われました。

まず初めに、12年間マニラで働かれ一時帰国中のシスター深谷様(援助マリア会)からフィリピンで出会った人々の体験を聞くことができました。シスターは「フィリピン人は喜びの人々です」「神に愛されて、

希望をもって生きる国

です」と語られました。

そののち、フィリピンで作成された礼拝式文で、

丁寧な心を入れて

読み込まれ、シスター

深谷のお話に助け

られた私たちは、簡素な礼拝式文となった礼拝に与りました。印象に残る美しい歌と百瀬神父様の説教(マタイ20章1~16)。

細江教会からは13名の参加、次年2018年は日本基督教団下関教会で開催です。

白濱 敏子



\*大勢の参加があった彦島カトリック教会。

## 助祭叙階式 3/4 (土)

早春の爽やかな日差しを浴びて、東京イグナチオ教会「マリア聖堂」では、岡田大司教さまの司式により助祭叙階式が行われました。以前、細江教会にいらしたファン・デュック・ディンさんが助祭の恵みを受けました。



\* 右からレンゾ神父さま(イエズス会管区長)、ディン助祭、岡田大司教さま、ニャー助祭、サリ神父さま(神学院院長)

\* ディンさんとニャーさんは、2009年にイエズス会日本管区へ。



「私とニャーさんとは2002年から今までの長い長い付き合いでした。何という恵み、何という喜び、その中にも何という悲しみ、苦しみ・・・ずっと一緒にいた兄弟・・・キリストのうちに私たちは友となり、すべてのキリスト者と、神に対するすべての人類は友です。友のために自分を捨てること、これ以上大きな愛はありません。」(ディンさんのイメージ?とは違って?ユーモアを交えたお話。)  
 「司教さまの傍に座りたい・・・それは、司教さまを助けること、共同体に仕えること、教会に仕えること、貧しい人々や苦しんでいる人に仕えること、助祭として役割ができますように、お祈りください」と、ディンさんの挨拶。また、参列した皆さまへの感謝の言葉も添えられました。

故国から日本の修道会へと、道乗りは大変だったでしょう。司祭への道を一步一步・・・前に向かって進んで行ってほしいと願う、母親の気持ちで祈る日々でした。

お二人が、神さまへの愛の道を歩んでいきますように・・・と、共にお祈りください。この式に参列できたことに感謝しつつ。

近藤 克美



\* ヨセフホールのレセプションでは、ベトナム料理が並んでいた。(ディンさんを囲んで)



## 東日本大震災祈りの集い 3/11 (土)

ろうそくの炎が煌めき、シーンとした静けさの土曜日の午後・・・。

「多くの方が震災で、未だに仮設住宅で過ごして、その中でも体をこわされている方々がいる。特に福島では、まだ帰れなくて復興が全くなされていないこと、将来の夢も描けず苦しんでいる方々を思い起こしてみたいと思います」と、百瀬神父さまと共に祈りを捧げ、14時46分には教会の鐘が響きわたり、あらためて被災地に思いをはせ、祈るひと時を過ごしました。



## 四旬節黙想会

\*去る3月12日、広島祇園教会より作道宗三神父様をお迎えし「神の恵みを思い1年を振り返る」のテーマでご指導いただきました。今回は、参加者の中から無作為にお願いした方々に感想や気づき、心に残ったことなどを書いていただき典礼委員がまとめました。



・「黙想会は共に祈るとき」という言葉が心に残り、自己中心的で表面的な自分の祈りに気づかされた。日々の生活の中でもっと神様と向き合う祈りの時間を大切にして、神様と出会う喜びの体験を重ねて福音の喜びを証していくことに繋がりたい。

・「良いこと、悪いこと、辛いこと、あらゆることを神様に話し、まずはいただいたものすべてに感謝するように。真の感謝は、このようにしてくださった神様に心を向けること」の言葉に導かれ、わずか数分ながら共に捧げた感謝の祈りに心の静まりを感じることができた。

・今までの恵みが、どれほど多くの賜物であったかと感じることができた。自分の手柄ではなく神の恵みとして、両手を開いて喜んで受け取りたいと思った。

・「一日のうち自分にとって一番良い時間を祈りにあて、手のひらを上にひとり沈黙し神様に捧げる時間とするように。」この勧めに目の覚める思い。生き急ぎ、あらゆる雑事に優先順位をつけ、慌ただしく一日が過ぎていく自分から解放される明るい予感。

・福者高山右近の主への信頼を貫いた生涯が心に残った。福音の喜びをもって生きるとは、いつも復活の主の力で強められ、結ばれている信仰だと思う。このことを多くの人と分かち合い、宣教の喜びとしたい。



## 教会学校集会 3/25

神さまが呼んでるよ!

海の星幼稚園において、ブロック教会学校の交流会を開催しました。年長さんから中1年まで、28名の子どもたちと、リーダー17名、楽しい時間を過ごしました。ゲームを通して神さまへの信仰・希望・愛について考えてみました。

教会学校リーダー



\*「信・望・愛」のテーマで、各チームに分かれて

共同制作したポスター。一人ひとりの思いを折り紙やことばに込めて。

